



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

The service club of the YMCA Affiliated with the international association of
Y's Men's clubs "To acknowledge the duty that accompanies every right"



02
—
2026

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る

強調月間 TOF・FF

京都パレスワイズメンズクラブ会長
新納 麻衣子

「恩返し and 恩送り」
～恩送りのバトンを次の世代に～
"give back and pay it forward"

国際会長(IP)
Edward Ong (シンガポール)
「信念、愛、行動」
～共に、より強く～
"Faith, Love, Action"
"Together Stronger"

アジア太平洋地域会長(AP)
田上 正 (熊本むさしクラブ)

「信念と愛を持って行動しよう!」
～YMCA、ユースと共に地域社会に
貢献しよう!～

"Act now with faith and love!"
"Contribute to local society together
with YMCA and Youth!"

西日本区理事

中井 信一 (奈良クラブ)

「世界中の仲間とYYYライフを
楽しみましょう!!」

～あなたに寄り添う。
あなたを忘れない。～
"Let's enjoy the YYY life together
with our friends all over the world!!"
"Stay with you. Never forget you."

京都部部長

隠塚 功 (京都パレスクラブ)

「次のステージを求めて!」
"Looking for the next stage!"

会長 新納 麻衣子
副会長 川田 拓志
副会長 小林 千春
書記 大森 夏彦
書記 倉貫 彰子
会計 小森 由子
会計 堀 靖之

<https://kyoto-palace.net>
Bulletin 2026.02.01発行
第55巻 第8号 通巻640号
CHARTERED 1971



今月の聖句

ローマの信徒への手紙 5章3節

そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです。
苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。



LJIにて。左から西村さん、大野、小畠校長

ラオスにYMCAを!! プロジェクト

ラオス名誉領事

大野 嘉宏 京都パレスクラブ

ラオスにYMCAを、というのはYMCA アジア太平洋同盟の悲願でした。
アジアでYMCAを認めないのは北朝鮮とラオスの2カ国のみだからです。ラ
オス名誉領事である私に、なんとかYMCAを設立して欲しいとの要請があり
ました。

しかし、YMCAが直接に進出するのが無理なことは政府との話し合いで
承知していましたので、そこで思いついたのが先ず東京YMCA国際専門学
校の分校として、ラオスにホテル学校を立上げるという案でした。その最初の
費用としてパレスが50周年の記念事業で1000万円を出してくれたのです。そ
して、それがきっかけとなって西日本区でラオス有志の会が立ち上りました。

ラオスでは、やはりYMCAの「C」が問題となりましたが、5年目にしてやっ
と認可がおりる動きがあり、ラオス国立大学からはYMCAホテル学校を大学
内でやらないかとの提案が出てきました。我々は大喜びで学長夫妻を日本へ
招待しYMCAの実態を見てもらいました。そして、学長夫妻もYMCAに対
する偏見も無くされて帰国されたと信じていました。ところが、帰国後の大学
内の会議では、やはりYMCAの名前は無理だと通告を受けました。

私はすぐにラオスに飛び、小畠校長、西村さんと共に、新任の教育スポ
ツ大臣に面会を申し入れ、YMCAホテル学校がラオスの観光立国として、
また日本のホテルに卒業生が就職することによる外貨獲得などにいかに役立
つかを力説いたしました。私の話をじっと聞いてくれた大臣が、翌日の夕方に
再び会いたいとの連絡があり、行ってみるとラオス大学副学長と高等教育局
長が同席していました。

教育スポーツ大臣は立ち上がって、「私は昨夜は疲れなかった。本日外務
省に問い合わせて大野名誉領事のラオスに対する寄与などを調べた。この領
事の提案をラオスは受けるのが当然だ」と力説され事態は急変しました。さ
らに、ラオス国立大学内にある日本政府が開設した日本との交流施設「LJI」
で開校してはとのことでした。

まだまだ難航は予想されますが、今年の10月開校を目指して頑張ります。

例会出席

在籍クラブ会員数	70名	1月第一例会	1月第二例会	ニコニコ1月第一例会	11,000円
担当主事	1名	メンバー 49名	メンバー 46名	ニコニコ1月第二例会	15,000円
パレス功労会員数	1名	メネット 0名	メネット 0名		
パレス維持会員数	3名	コメット 0名	コメット 0名		
月間MU総数	0名	ゲスト 1名	ゲスト 0名		
月間出席者数	55名	ビジター 0名	ビジター 0名		
月間出席率	80%	スピーカー 0名	スピーカー 0名	ファンド収益 1月	30,399円
				累計	1,263,332円

1月第一例会

新年例会 第1293回

01-14 wed. くろちく天正館

熊野りん



くろちく天正館でおこなわれた新年例会では、能『高砂』の「高砂やこの浦舟に帆をあげて」という祝言の一節に触れ、夫婦和合や長寿、平和を象徴する日本文化の奥深さを感じることができました。月とともに穏やかな追い風を受けて進む小舟の情景は、新しい一年の門出

にふさわしいものでした。あわせて和やかなお食事会が催され、パレスワイズメン同士の交流も深まりました。また、次期役員・委員長の紹介もおこなわれ、組織の未来への期待と決意を共有する、格調高く心温まる新年例会となりました。



1月第二例会

半期総会 第1294回

01-28 wed. ホテルオークラ京都

渡邊 大介



55期も上半期が過ぎ、早くも半期総会を迎えました。半期総会の議案としては上半期の各事業報告および決算報告、次々期57期会長には服部ワイズが選出、福井次期会長期の三役および各事業委員長の選出について全て承認されました。今期の上半期事業報告ではどの事業委員会多くのメンバーの積極的な参加のもと活発な委員会活動が実施されたことがとても伝わりました。

半期総会の後には、下半期の一大イベントである55周年記念例会の吉岡実行委員長によるスピーチ、本番まで3ヶ月を切り、クラブ全員が団結して取り組んでいく良いきっかけになったと思います。例会最後の56期三役・事業委員長によるニコニコでは53期～54期に入会された方も多く、パレスクラブでの三役・委員長をはじめて務められる方が多いということでフレッシュな中に強い意志を自分の言葉でお話されている姿がとても印象的でした。

55周年記念例会の準備と今期・次期の活動が重なる方も多くなりますが、それも楽しんでがんばっていきましょう！



ラオスにYMCAを！有志の会

進捗報告＆新年会

01-16 fri. フォーチュンガーデン京都 谷口 龍一 

「ラオスにYMCAを！有志の会 進捗報告＆新年会」が開催され、多くのワイズメンが一堂に会した。会では、大野ワイズより開校に向けた進捗報告がおこなわれ、現地での調整や運営体制づくりなど様々な困難を乗り越えながら、計画が着実に前進していることが報告された。その真摯な取り組みに、参加者は本事業の意義を改めて

共有する機会となった。また、余興として披露されたラオスからの留学生による踊りは、会場を和やかな雰囲気で包み、参加者がラオスをより身近に感じるひとときとなった。ワイズメンの思いは開校への期待とともに一層高まり、今後に向けた結束を深める会となった。



第56期への抱負

次期会長 福井 正太 



今年の抱負は、次期クラブ会長として、これまで先輩方が築いてこられた伝統と信頼を大切に受け継ぎつつ、会歴の浅いメンバーを主役にすることです。

会員一人ひとりの思いや個性を尊重し、誰もが意見を発信しやすく、主体的に参加できるクラブ運営を目指します。対話と協力を重んじ、活動の意義を共有しながら、結束力のある組織づくりに努めます。次世代へつながる持続可能なクラブの発展のため、責任と感謝の心を持って全力で取り組んでまいります。

そして、私自身も成長しクラブに貢献できるように頑張って参ります。

Hello!!

新人メンバー紹介 長谷川 俊之



55期1月に入会しました長谷川俊之でございます。会社は右京区太秦にて、来年で創業40年目の不動産業です。特に、ご離婚・相続・ストーカー被害の際の不動産売却のご依頼が多く、また墓じまい、無住寺院等、弔い方に大きな変化が生じている昨今、自身が終活カウンセラーとして、ご縁のある寺院の檀家さんの様々な終活に関するお悩みの解決もさせていただいております。クラブには弁護士の川田ワイズからご縁をいただき、メンバー全員が一丸となって運営、活動されていることに感銘しまして、京都パレスの皆様のお仲間に入れていただき、一生懸命活動していくたいと思いました。何卒、ご指導の程、よろしくお願ひいたします。

リトリートセンター開設60周年記念募金



本募金には多くの皆さまよりご支援をいただき、現在の寄付総額は8,778,038円となっております。心より感謝申しあげます。子どもたちや青少年の育ちの場として、今後も一層充実させてまいります。引き続き、募金へのご協力ををお願いいたします。詳細は右記二次元コード、または以下のURLをご覧ください。

<https://kyotoymca.or.jp/facilities/?p=1446>

※クレジットカードによるオンライン決済もご利用いただけます。



1月役員会議事録

- 第1号議案 3月第一例会(通常例会)の件【承認】
- 第2号議案 3月第二例会(通常例会)の件【承認】
- 第3号議案 第55期上半期事業報告の件【承認】
- 第4号議案 第55期上半期決算報告の件【承認】
- 第5号議案 半期総会議案の件【承認】
- 第6号議案 京都YMC Aチャリティーバザーの件【承認】
- 第7号議案 京都YMC Aリーダー活動感謝会の件【承認】
- 第8号議案 第2回京都部リトセン・チャリティー ゴルフ大会の件【承認】
- 第9号議案 国際選挙投票の件【承認】
- 第10号議案 新入会員の件【承認】
- 第11号議案 慶弔金拠出及び弔電送付の件【承認】



今後の予定

- 02-03 Tue. 55周年記念例会実行委員会
- 02-04 Wed. 2月役員会
- 02-10 Tue. 2月第一例会
- 02-10 Tue. TOF例会後の二次会
- 02-22 Sun. 京都YMCAチャリティーバザー
- 02-23 Mon. 京都部チャリティー ボウリング大会
- 02-25 Wed. 2月第二例会



**Happy
Birthday!**



07 川上 孝司 11 若林 紀子 21 神谷 ゆり 27 坪内 宏行

**Happy
Anniversary!**

01 吉田 恵美・黒石 晋 夫妻	21 安原 弘治・梨見子 夫妻
07 安田 光一・美 佳 夫妻	25 山村 允人・乃梨子 夫妻
11 後藤 有志・知 沙 夫妻	



X BULLETIN



会社訪問 | vol.15

ジュエル・マルニシ



Q1 なぜこのお仕事？

A 父から引き継ぎ2代目になります。もともと機械いじりが好きで5年間時計の修理を学び、宝石の勉強をして鑑定士の資格を取得し現在になります。

Q2 新規お客様の獲得はどうされていますか？

A おかげさまでご紹介がほとんどになります。あとは、オンラインショップの売り上げになりますね。

Q3 苦労していることは？

A 路面店の営業に限界を感じています。時計修理が少なくなっていますね…

Q6とQ7は最終ブリテンで発表します。

Q4 事業を営む中で嬉しかったことは？

A 他店では断られた修理が当店では出来た時と宝石のデザインを褒めて頂いた時ですね。

Q5 今後の展望は？

A 体が元気であればずっと仕事をしています(笑)



設立：昭和30年 従業員数：2名

上京区でジュエリーとメガネの販売・時計修理を経営されている小西さん。いつも芸術家のような出で立ちの小西さん。最初はどう接すれば分からなかつたのですがお話しすると少年のような笑顔でお話してくださってとても嬉しかったのを覚えています。

私も父の時計を他店では断れましたが見事に修理していただきました。父は大喜び(笑)お時間ありがとうございました！

会社訪問 | vol.16

株式会社 Re-aI

Q1 なぜこのお仕事？

A 前職(瓦屋根葺師)の時、海外で仕事が有りそこでウエディングプランナーという仕事があることを知り、当時は日本あまり知られていない仕事で興味を持ったのがきっかけです。

Q2 経営する中で大切にされていることは？

A 自分の信念に従ってまっすぐ進むことです。そして結果を出すことです。特に営業コンサルという仕事は取引先様への結果が出ないと意味がないと思っています。

Q6とQ7は最終ブリテンで発表します。

Q3 苦労していることは？

A スタッフの人材確保とエリアの拡大ですね。

Q4 営業をする中で嬉しかったことは？

A 取引先の教え子が成長(出世)した時ですね。

Q5 今後の展望は？

A 何か新事業を展開したいですね。



設立：平成30年 従業員数：3名

右京区でプライダル・飲食店・デザイン業を営まれている神田さん。私が出会った人の中で気配り目配り心配りが凄すぎる人ナンバー1の神田さん。仕事が出来る人=神田さん。間違いないとおもいます。憧れます♡
取材当日はお忙しいところお時間いただきましてありがとうございました！

広報委員長のつぶやき



昨年のパレス忘年会での出来事をきっかけに、例会時のパレスソングは「もっと大きな声で歌おう」と、某ワイズより提言がありました。毎回、岡見ワイズが心を込めて演奏してくださっているにもかかわらず、小さな声では失礼にあたる…まさに仰る通りで、その場に居合わせた皆さんも納得されていました。

実際、第二例会では歌声の音量が明らかに大きくなっていたのが印象的でした。

このワイズソングについて、ふと「誰が和訳したのだろう」と思い調べてみると、1961年以前は英語で歌われていたそうです。東京山手クラブ所属の淵田多穂理主事が「日本語に翻訳して歌ってはどうか」と提案し、和訳案『ワイズメンの歌いざなて』を示したところ好評を博し、翌年1月からクラブ内で歌われるようになったとのことでした。少し調べただけでしたが情報量の多さにワイズメンの諸先輩方の探究心と積み重ねに、改めて頭が下がる思いです。

今月のワイズ用語



TOF
Time of Fast

タイム・オブ・ファスト【Time of Fast】断食の時)の略称で、クラブ例会での食事を抜き、その金額相当分を国際協会に献金する。献金は、世界中のYMCAから募集して国際協会が選定するSDGsに関連する発展途上国を主たる対象とする地域支援プロジェクトに用いられる。